

京都大学

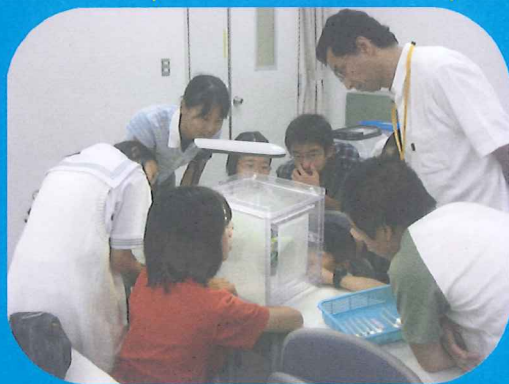
君の世界を広げませんか
日常の世界から飛び立とう!!

ジュニアキャンパス

2009 [募集要項]



Kyoto University Junior Campus 2009



■日時

2009(平成21)年**9月26日**⑤・**27日**⑥

■会場

京都大学吉田キャンパス・宇治キャンパス 他
(各講義室/実験室/実習室/研究室)

■プログラム

特別講義、中学生向けゼミ、特別協賛ゼミ、
大学院生等によるポスターセッション、キャンパスミニツアー



■主催

京都大学

■共催

京都市教育委員会

■問い合わせ先

京都大学教育推進部教務企画課ジュニアキャンパス担当
TEL:075-753-2528



●詳細はホームページにも掲載しています。 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/open/junior.htm>
パンフレット、申込書はホームページからもダウンロードできます。

京都大学ジュニアキャンパス2009

君の世界を広げませんか、日常の世界から飛び立とう

みなさんは、これまでどんなことに疑問をもちましたか。例えば「水はどうして凍るんだろう」という一つの疑問から、「塩水もガソリンも凍るのかな」「固いものがどうして溶けるんだろう」など、どんどん疑問がふくらんだことはありませんか。身近な日常生活のなかから湧いたそんな疑問の答えを求めて、自分で仮説を立てて挑戦し、新しいことを見つけ出したときの喜び—これが研究の醍醐味です。

京都大学では世界最先端の多様な研究分野で「自学自習」という理念に基づいて、研究や教育が行われています。「自学自習」とは、自分の勘や感性を大事にしながら疑問に思ったことを追究しようとする人を、応援するなかで育っていく学びです。

「京都大学ジュニアキャンパス 2009」は、中学生のみなさんに、学問の最先端を研究している現場に来て、触れて、楽しさや面白さを感じてもらい、将来学びたいことを考えたりするきっかけになればと思っています。今回は法律、言語、哲学、教育、理学、工学、医学など様々な分野から、実験、工作、自然観察といった体験型の授業や討論を通じた授業などいろいろ用意しています。

「学問の最先端に触れて自分の世界を広げてみたい」というみなさんの参加を待っています。

日 時 2009 (平成21) 年9月26日 (土) ~ 9月27日 (日)

場 所 京都大学吉田キャンパス、宇治キャンパス 他 (講義室、実験室、実習室及び研究室等)

参加資格 京都市及びその近郊の中学生 (その保護者や教師等も参加できます。)

参加費 中学生: 3,000円
保護者等: 3,000円

※ 1人3,000円ですべてのプログラムに参加できます。一部のプログラムに参加する場合でも参加費は同じ金額です。

なお、参加費には、教材費等も含まれています。

募集定員 中学生約200名程度、保護者等を含め約300名程度

「中学生向けゼミ」は、A、B及びCの三つの時間帯のうちから選んで受講することができます。すべてのゼミを受講することも、一つ又は二つのゼミのみ受講することもできます。ただし、受講料は変わりません。

なお、申込者が募集定員を超えた場合は、出来るだけ多くの学校からの応募者が参加できるように配慮しつつ、抽選により、参加者を決定します。

受講ゼミは、出来るだけ希望順位に従って決定しますが、ゼミによっては後順位になることがあります。

申込方法 このパンフレットに折り込んである「参加申込書」(京都大学ホームページ掲載の「参加申込書」の利用も可)に必要事項を記入のうえ、**8月19日(水)**までに下記あてへ個人で郵送してください。(学校単位でのお申し込みはご遠慮ください。)

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学教育推進部教務企画課
「ジュニアキャンパス担当係」

※応募者が多数の場合、希望が叶えられないことがあります。また、電話での申込受付はいたしません。

結果の通知 参加の可否を記載し、9月上旬頃にお知らせします。参加決定者には、併せて、受講料の支払方法(銀行振り込み)等を含めたジュニアキャンパス関係の資料を送付します。

問い合わせ先 京都大学教育推進部教務企画課 「ジュニアキャンパス担当係」
電話: 075-753-2528

■ 日 程

日 時		対 象	
		中 学 生	保 護 者 等
9 月 26 日 (土)	9:00～9:30	受 付	(吉田キャンパス)
	9:30～9:45	開 講 式	(吉田キャンパス)
	9:45～10:15	オリエンテーション	(吉田キャンパス)
	10:15～10:30	休 憩	
	10:30～12:00	特別講義 「宇宙へ飛び立とうー観る、翔る、使うー」 松 本 紘 (京都大学総長・工学博士) (吉田キャンパス)	
	12:00～	昼 食・休 憩 (昼食は、各自、ご準備ください。)	
	12:50	吉田キャンパス (時計台記念館前) から 宇治キャンパスへの運行バス出発	
	14:15～15:45	中学生向けゼミ A	(吉田・宇治キャンパス)
15:45	現 地 解 散 ※ ただし、宇治キャンパスのゼミ受講者のうち希望者は 時計台記念館前まで運行バスで移動し、解散。		
9 月 27 日 (日)	10:00	吉田、宇治の各キャンパスに現地集合	
	10:30～12:00	中学生向けゼミ B	(吉田・宇治キャンパス)
	12:00～	昼 食・休 憩 (昼食は、各自、ご準備ください。)	
	12:15	宇治キャンパスから吉田キャンパスへの運行バス出発	
	13:30～	吉田キャンパスから花山天文台 他への運行バス出発	
	14:15～15:45	中学生向けゼミ C (吉田キャンパス) キャンパスミニツアー (時計台記念館、尊攘堂、総合博物館等) (吉田キャンパス) ※ 中学生も保護者等も、「中学生向けゼミ」か「キャンパスミニツアー」 のいずれかを選択することができます。	
15:45	現 地 解 散 ※ ただし、花山天文台 他へのゼミ受講者のうち希望者は 時計台記念館前まで運行バスで移動し、解散。		

※ 受講者は、9月26日(土)～27日(日)のジュニアキャンパス期間中、総合博物館に無料で入館できます。

※ 「大学院生等によるポスターセッション」は、9月26日(土)・27日(日)の12:00～14:15の間、開催されます。(自由見学)

■ 特別講義

平成21年9月26日(土) 10:30~12:00

講義題目

「宇宙へ飛び立とうー観^みる、翔^{かけ}る、使うー」

京都大学総長・工学博士
松 本 紘



〔講演内容〕

宇宙は昔から人々の心を捕らえてきましたが、今は、ガラスの都会でテレビ画面を通してしか宇宙を観なくなっています。本講では、宇宙と人のかかわり、宇宙科学の面白さ、ロケット実験、低炭素社会実現に必要な宇宙太陽発電所の話をします。

また、講師自身の子供の頃から学生時代、NASA時代、京大時代において宇宙科学、宇宙開発へどうかかわってきたかを紹介するとともに、皆さんの将来を左右する人類の生存領域を地球から太陽系へと拓げる事の重要性について語ります。

〔プロフィール〕

松 本 紘

1942年生まれ。京都大学工学博士。専門は宇宙プラズマ物理学、宇宙電波工学、宇宙エネルギー工学。京都大学生存圏研究所長、京都大学理事・副学長を経て2008年10月より現職。

主な著書 「宇宙開拓とコンピュータ」(共立出版)、「情報フロンティアシリーズ」(情報処理学会編)他多数。

■ 中学生向けゼミ

ゼミA 平成21年9月26日(土) 14:15~15:45

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
宇治	A 1	見て知る遺伝子DNA 青山 卓史 (化学研究所教授)	生物が遺伝情報の媒体として持っているDNAについてその研究の歴史を概説し、分子としての実体を模型やアニメーションなどを使って説明する。また、簡単な実験を行い、実際にDNAを観察する。	
吉田	A 2	「テツガク」ってなあに? 戸田 剛文 (人間・環境学研究科准教授)	世の中には、ぼくたちがあたりまえだと思っていることがたくさんあります。ものには色があるとか、僕らは自由だとか、見たら目の前のことがわかるとか。。。でもそれってほんとうはどうなのでしょう?よく大人や先生は「そんなあたりまえでしょ!」っていうけど、あたりまえだって言われることってあながいそうじゃないのかも!	
吉田	A 3	森里海連環学~森と里と海のつながりと暮らし 上野 正博 (フィールド科学教育研究センター助教)	海は森が贈ってくれる栄養塩とか微量物(鉄・カルシウムなどなど)を使って魚やカニ・エビを育む。森は海が貯えた水と炭素で育つ。で、人はその狭間の里に暮らす。森と海の間から人の暮らし。。。地球環境問題とかエコとか。。。を考える。	
吉田	A 4	モノのしくみとイキモノのしくみ(生体医療工学) 富田 直秀 (工学研究科教授)	モノとイキモノでは何が違うのでしょうか?イキモノは作れるのでしょうか?そんな疑問から始まって、医療の中で活躍する人工臓器や再生医療のお話しをします。スポーツ工学のお話しも飛び出すかもしれません。生体医療工学に関わることならば何でもお答えしますぞ。質問大歓迎です。	
吉田	A 5	3R(すりーあーる)から始めるエコライフ~オリジナルマイバッグをデザインしよう!~ 浅利 美鈴 (環境保全センター助教)	「ごみ」問題の実態、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の考え方について学んだ後は、どうしたら良いかディスカッション。それを踏まえて、ごみ減量に役立つようなオリジナルマイバッグをデザインして頂きます。	
吉田	A 6	会社と役所の違いー行政法的思考とは?ー 高木 光 (法学研究科教授)	現代社会の主役は企業と行政です。法律学の一分野としての「行政法」という科目では、行政の活動を公正妥当なものにするためのルールを扱っています。その思考方法の特徴を「酒酔い運転で検挙された公務員はそれだけでクビにすべきか、会社の営業マンの場合はどうか」という具体例を通じて考えます。	

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
吉田	A 7	インターネット探検隊：世相や人物関係の再発見 吉川 正俊 (情報学研究科教授)	インターネットは、現実社会の射影であり、私たちの生活に多大な影響を与えています。インターネットから見た現実社会を実際のシステムを用いて説明し、それを機械で実現するための仕組みを紹介します。さらに、開発したシステムを用いた体験学習を行います。	
吉田	A 8	火山の噴火を見てみよう 鍵山 恒臣 (理学研究科教授)	世界のいろいろな火山噴火の映像をふんだんに見ながら噴火の不思議を考える。また、インターネットで京都大学の火山観測所や世界の火山観測所にアクセスし、火山活動について調べる練習をする。	
吉田	A 9	大学生と語るジェンダー（「男らしさ」や「女らしさ」などの社会的性別） 伊藤 公雄 (文学研究科教授)	ポケットゼミ参加の京大生とジェンダー（「男らしさ」「女らしさ」とは何か、どんな問題があるかなど）をめぐって議論を行う。	

ゼミB 平成21年9月27日(日) 10:30~12:00

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
吉田	B 1	どうするの？世界最低の英語力 青谷 正妥 (国際交流センター准教授)	標準英語テストで、日本人の話す力は単独世界最下位。なんと京大生も日本平均と同じ。話す力が無ければ、読・書・聞の能力も貧しいのは、今や英語教育の常識。では発話力を身に付け、他の技能につなげるにはどうするか。恥部も患部も曝け出す現状把握から運用力の総合的養成まで、著書「英語勉強力」に基いてお話しします。	
吉田	B 2	救命の連鎖を学ぶ 平出 敦 (医学研究科教授)	突然、心停止になった方を救命するためには、救命の連鎖が機能しなくてはならない。この授業では、救命の連鎖の概念を学び、これを実現するためにAED(自動体外式除細動器)を使用して、実際に蘇生処置ができるようになることを目標とする。	
吉田	B 3	バングラデシュにおける実践型地域研究ー農民の主体的な技術変革に学ぶー 安藤 和雄 (東南アジア研究所准教授)	20年前バングラデシュのD村で私たちが行った農村開発プロジェクトにおいて、農民にはあまり受け入れられなかった除草具が、現在広まっています。このことをテーマにとりあげ、社会における「変化」は、孤立しておきるのではなく、さまざまなこととの関係で起き、主体的な原動力が必要であることを、ゼミ生のみなさんとともに考えてみます。	
吉田	B 4	幸せって何？日本とドイツの教育現場から考える 鈴木 晶子 (教育学研究科教授) Ruprecht Mattig (教育学研究科助教)	幸せって何なのでしょう？みなさんはどんな時に幸せだと感じますか？いま私たちは幸福感や幸福のイメージが人間のうちにどんなふうにして形作られているのかについて教育学や哲学の観点から探求しています。今回のゼミでは、ドイツ・ベルリンの大学と共同で行った研究をもとに、映像を交えながら紹介し、みんなで楽しく話し合いたいと思います。	
吉田	B 5	どのようにガリレオは宇宙を見たのか？ 伊藤 和行 (文学研究科教授)	今年は、ガリレオが望遠鏡による天文観測を始めた1609年からちょうど400年になります。彼の天文観測は、近代の天文学そして宇宙論の出発点とも言われます。ゼミではガリレオが残した著作や書簡を用いながら、彼がどのようにして宇宙を観察したのか、その足跡をたどってみましょう。	
吉田	B 6	大地震！震源直上の恐怖 佐藤 裕一 (工学研究科助教)	上町断層、花折断層など、関西は活断層の真上にあります。これらの断層がずれたら街はどうなるでしょう？実は今から10年前、台湾で活断層の直撃を受けた大地震がありました。多くの建物が断層直上で倒壊した一方、どうにか無事な建物もありました。何がこれらの建物の運命を分けたのでしょうか。シミュレーションや簡単な実験で、解説したいと思います。	

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
吉田	B 7	古地図を読む～日本へのまなざし・日本からのまなざし 岩崎 奈緒子 (総合博物館准教授)	15世紀から18世紀の間に描かれた古い地図を並べて、日本がどのように描かれたのか、日本人が世界をどのように描いたのか、その違いを観察します。そこには、現代の私たちからは想像できないような姿があります。古地図を手がかりとして、人間がどのように世界を見てきたのか、その特徴や変化を知ることができるでしょう。	
吉田	B 8	私たちの世界を広げてきた望遠鏡 長田 哲也 (理学研究科教授)	ガリレオ・ガリレイが天空に望遠鏡を向けてから400年、観測装置の発達によって私たちの世界が広がってきた。世界天文年にちなんで天文学の歩みを解説した後、簡単な光学実験をして、実際に望遠鏡を手作りしてみる。	
宇治	B 9	観測地震学-ふだん地面はどれくらい揺れているか- 加納 靖之 (防災研究所助教)	地震が発生したときに報道される震度やマグニチュードはすべて地震計で測定した地面の揺れをもとに算出しています。また、地震がつくりだす地面の揺れ方を調べることによって、地震の起こった場所(震源)や断層の動き方、地下や地球内部の構造などがわかります。この実習では地震計を使って地面のわずかな揺れを測ってみましょう。	

ゼミC 平成21年9月27日(日) 14:15~15:45

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
吉田	C 1	太陽の素顔をさぐる ー花山天文台における太陽観測実習ー 一本 潔 (理学研究科教授)	最近の観測が明らかにした太陽の驚くべき素顔を最新の映像などを用いて紹介・講演し、のち、花山天文台のシーロスタット70cm望遠鏡を用いた太陽スペクトル観測、18cm屈折望遠鏡を用いた黒点スケッチ、H α 観測実習などを行うことにより、太陽の素顔にせまる。	花山天文台
吉田	C 2	情報学 ーサーチエンジンの仕組みとインターネットから見える社会 田中 克己 (情報学研究科教授)	誰もが日常的に使っている検索エンジンは、どのような方法で情報を集め、検索結果を選んでいるのでしょうか。その背景となる仕組みを説明し、さらに、検索エンジンから得られた情報を機械的に集約することで明らかになる社会の姿や知識について紹介します。実際にインターネットを用いた実習を行います。 実施場所は学外(河原町二条)の情報学研究科田中克己研究室です。現地まではタクシーなどで移動します。詳細は別途連絡します。	河原町二条
吉田	C 3	イマジナリー・キューブ ー数学の楽しみー 立木 秀樹 (人間・環境学研究科准教授)	見慣れない変わった多面体を工作し、それらを使って立体幾何の面白さを体感しましょう。 詳しくは http://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/~tsuiki をご覧ください。	
吉田	C 4	コンピュータで描く地図 小方 登 (人間・環境学研究科教授)	普段暮らしていても気づかない微妙な地形の特徴を、コンピュータ・グラフィックの技法を利用して視覚化し、経済生活や歴史・文化との関連を説明します。例として、京都・大阪など身近な地域を取り上げる一方、地形図の利用が難しい外国について、インターネット上で提供されているデータを利用して地形モデルを描く方法を実習します。	
吉田	C 5	植物のかおりの生態学 高林 純示 (生態学研究センター教授)	空港で麻薬犬を生まれて初めて見たときのこと。「かわいい。こっちに来ないかな」とのんきに考えていた。かすかな麻薬のかおりをかぎ分けるとは、一体どの様な「かおり世界」に住んでいるのだろう。昆虫も犬に負けず劣らず微量なかおりの世界の住人である。植物のかおりが紡ぎ出す虫たちの世界に注目し、その不思議について紹介したい。	
吉田	C 6	マグマ科学ー火山噴火の秘密を探るー 古川 善紹 (理学研究科准教授)	火山はなぜ噴火するのでしょうか？その秘密は溶岩の中に隠されています。火山の爆発は恐ろしいものですが、地球が元気に活動している証でもあります。台所にある食品等を使った簡単な実験で火山で生じる様々な現象を再現し、火山噴火の秘密に迫りたいと思います。	

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
吉田	C7	<p>生命の物理学とは何だろうか？ — 生きている状態を探る</p> <p>村瀬 雅俊 (基礎物理学研究所 准教授)</p>	<p>生きている生物と死んでいる物質は、どんな違いがあるのだろうか。学習や記憶、あるいは意識や無意識とは何だろうか。科学技術の発展により、さまざまな測定装置が開発されてきたおかげで、おどろくべき生命の秘密が解き明かされようとしている。学問のフロンティア精神とは、従来の常識・方法論・理論にとらわれることなく、例外的な現象を真摯に見つめることに他ならない。その意味で、若い皆さんにこそ、最先端の研究成果に触れる機会が望まれている。さあ、新しい生命の物理学の世界へようこそ。それは、今の教科書には掲載されていないが、未来の教科書を埋め尽くす真実の物語である。</p>	

■ 大学院生等によるポスターセッション

日時：平成21年9月26日（土）／27日（日）12:00～14:15

テーマ	内 容	備 考
体の中のウイルスセンサー (生命科学研究科)	ウイルスの中にはインフルエンザやエイズなど、恐ろしい病気を引き起こすものもあります。しかし、ウイルスはとっても小さく、大きいものでも一万分の一ミリメートルほど。こんなに恐ろしくてこんなに小さいウイルスが体の中に入ってきたことを、いったい私たちの体はどうやって見つけているのでしょうか？その仕組みを解説します。	
RNAの世界 (生命科学研究科)	生物が持つ分子、「RNA」は非常に多彩な物質です。生物が生きていく上で必要な、様々なタンパク質を作り出す機械であり、遺伝子を正しく使うための調節にも関わっています。さらには、このRNAが私たち生き物全ての起源だという考えもあります。こんな、いかにも凄そうなRNAの色々な働きを見ていきましょう！	
森の測り方：森林の生態系サービスを評価する (農学研究科)	森林は私たちに様々な恵みをもたらしています。地球温暖化ガスの一つである二酸化炭素を吸収したり、木材を生産したり、生物のすみかを提供したり、水をきれいにしたり。本ポスターでは森の恵み（サービス）を科学的に評価するための”森の測り方”を実際に体験しながら、現在森林が抱える問題を考えていきたいと思えます。	
俳優研究の最前線 (人間・環境学研究科)	普段、みなさんがテレビや映画で見ている俳優さん達を学術的に研究することが古くから行われてきました。一体どのような方法で俳優を研究するのでしょうか？様々な国の研究をたくさんご紹介します。好きな俳優さんはだれですか？なぜ、その俳優さんが好きなのでしょう？今まで見た演技で感動したシーンなどを思い浮かべて足を運んでみて下さい。	
きこえのしくみと新しい治療 ー音のHIBIKIを取り戻すー (医学研究科)	私たちはいったいどのように音を認識しているのでしょうか？きこえが悪くなったとき、どうやって治すのでしょうか？ ・きこえのしくみー音が耳に届いてから脳に伝わるまで ・きこえが悪くなる原因ーどこが悪くなるの？ ・病院でできることー手術、薬、補聴器、人工内耳 ・そしてこれからーHIBIKIプロジェクト	9月27日 のみ
発見！探検！教育哲学 (教育学研究科)	「教育哲学」とは、どんな学問でしょうか。私たちのポスターでは、研究室メンバーの研究を紹介することで、みなさんに教育哲学の世界を「探検」してもらいます。そのなかで、教育哲学という一見難しそうな学問が、実はみなさんの学校・日常生活に深く関わっていることを「発見」してもらえそうな発表にしたいと思います。	

■ 特別協賛ゼミ①（放射性同位元素総合センター）

平成21年8月7日（金）13:00～16:30

テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
放射線って何だろう？ 放射性同位元素総合センターの教職員	放射線に関する基礎知識を中学生にもわかりやすく講義し、また、身の回りにも放射線が存在していることを簡単な実験によって確かめてもらう。そして、放射線は取扱いを間違えると危険だが、最先端の医療をはじめ様々なところで人類の役に立っていることも理解してもらう。	

(注) このゼミの参加申し込みは、ジュニアキャンパスの申込みとは別に、放射性同位元素総合センターに行ってください。

(申込方法) 氏名・学校名・学年・住所・電話番号を明記の上、FAX、E-mailでお申し込みください。

(送付先) 〒606-8501

京都市左京区吉田近衛町 京都大学放射性同位元素総合センター 宛

FAX:075-753-7504 E-mail:taiken@barium.kyoto-u.ac.jp

(締切) 8月3日(月) (先着50名まで)

(実施場所) 京都大学医学部構内放射性同位元素総合センター教育訓練棟

(その他) 保護者等同伴可

■ 特別協賛ゼミ②（基礎物理学研究所・経済研究所・総合博物館 共催）

平成21年10月18日（日）10:30～16:30（予定）

テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
進化とは何か？	本年は、チャールズ・ダーウィン生誕200年に当たる。それを記念して、進化をテーマに、生物、こころ、化学などにおける進化とは何かに関する公開講座を実施する。講師は、鎌田東二（京都大学こころの未来研究センター 教授）、長沼 毅（広島大学生物圏科学研究科 准教授）、井上 丹（京都大学生命科学研究科 教授）、吉村一良（京都大学理学研究科 化学 教授）ほかである。	

(注) このゼミの参加申し込みは、ジュニアキャンパスの申込みとは別に、基礎物理学研究所に行ってください。

(申込方法) 以下の3つの方法のいずれかで、9月18日（金）までにお申し込みください。

- ・官製はがきに、公開講座申し込みと書いて、郵便番号・住所・氏名・学校名・学年を記載し、下記宛にお送りください。

郵便番号606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所 共同利用事務室 担当 二宮 宛。

- ・メールにて、公開講座申し込みと書いて、郵便番号・住所・氏名・学校名・学年を記載し、下記アドレスまでお送りください。

ev2009@yukawa.kyoto-u.ac.jp

- ・ホームページ <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/ev2009/index.html>

からお申し込みください。

(実施場所) 京都大学総合博物館

(募集人数) 中学生20名 保護者等10名



(京都大学吉田キャンパス図)

■ WWW (インターネット)

「京都大学ジュニアキャンパス2009」の詳細は、京都大学ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

参加申込書はホームページからダウンロードできます。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/open/junior.htm>

京都大学オープンコースウェア (OCW) にジュニアキャンパスの動画を公開しています。

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/junior-campus-jp/>

■ 個人情報について

個人情報については、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

(上記の規程は、京都大学ホームページに掲載しています。)

- 参加申込の際に記入された「氏名 (ふりがな)、郵便番号、住所、年齢、電話番号」の個人情報は、参加者を決定し、その結果を通知するためのみに使用します。
- 今回取得した個人情報は、ジュニアキャンパス終了後に破棄し、他の目的のために使用することはありません。
- ジュニアキャンパスの記録のため、写真やビデオを撮影し、ホームページ等に掲載することがありますので、ご了承ください。